

## 子ども医療費助成金受給資格認定申請書の提出について

久米島町子ども医療費助成制度において、平成27年10月1日受診分より通院の助成対象年齢が、就学前(小学校入学前)拡大となります。

拡大の対象年齢は、平成27年10月1日現在で0歳から就学前(小学校入学前)までの子どもです。

対象年齢	現在(平成27年9月30日診療分まで)	
0歳~3歳児	通院(調剤薬局含む)	3歳まで(※誕生日の月末まで対象となります。)
	入院	中学卒業まで
自己負担	3歳のみ1,000円の自己負担あり(通院分のみ)	

変更

対象年齢	変更後(平成27年10月1日診療分から)	
0歳~6歳児	通院(調剤薬局含む)	0~6歳児(小学校入学前)
	入院	中学卒業まで
自己負担	3歳から小学校入学前まで1,000円の自己負担あり(通院分のみ)	

### 1 申請場所

(1) 受付場所 仲里庁舎1階 福祉課 健康づくり班

### 2 提出書類

- (1) 久米島町子ども医療費助成金受給資格者証(オレンジ色)
- (2) 健康保険証または健康保険証写し(※平成27年4月以降変更があった方のみ)  
※振込口座の情報がわかるもの(通帳の写し)
- (3) 印鑑

## 日本脳炎予防接種のお知らせ

久米島町では、平成17年から平成21年の間に日本脳炎予防接種の積極的な勧奨を差し控えていました。その時期に接種機会を逃した方は、特例対象者として以下のように接種機会を確保しています。母子手帳をご確認のうえ、接種希望される方は予診票を発行いたしますので福祉課までご連絡ください。

### ① 平成19年4月2日~平成21年10月1日生まれの方

→7歳6ヶ月になる前に1期(初回・追加)の接種が完了していない場合、9歳~13歳の前日までの間に未接種分を接種することができます。

※2期の対象年齢(9歳~13歳の前日まで)に変更はありません。

### ② 平成7年4月2日~平成19年4月1日生まれの方

→20歳の前日まで、1期・2期の未接種分の接種が可能です。

### ①または②に該当する方で、日本脳炎ワクチン予防接種を希望する方は...

1. 事前に(対象者であるかの確認のため)福祉課へ連絡し予診票を受け取る。
2. 下記の希望する医療機関へ接種希望日の1週間前までに予約する。
3. 接種予約日に予診票と母子健康手帳、診察券等、接種料金の自己負担分(500円)を持参し、ワクチンを接種する。



### 《個別接種委託医療機関》

町内委託医療機関	電話番号
公立久米島病院	985-5555
仲里中央診療所	985-8306
球美の島診療所	896-8036

予防接種料金(1回につき)自己負担 500円



## 外来受診時の受付方法が変わります

平成27年10月1日より公立久米島病院の外来診療が原則完全予約制となります。

(但し、内科一般、小児科、整形外科並びに皮膚科については予約以外の方でも受付時間内に受付していただければ診察可能です。)

### ※完全予約制に伴い、変わる事※

#### (1) 受付用の番号札について

- 【現在】 朝7時に正面玄関前に設置
- 【10/1以降】 朝8時に病院内の受付カウンター前に設置

【現在】 全ての外来受診の方が受付用の番号札を受取り  
【10/1以降】 予約をお取りになっていない方のみ番号札を受取り  
※予約をお取りいただいている方については番号札を取らず、受付カウンター前でお待ちいただくこととなります。

#### (2) 受付について

- 【予約の方】 予約時間の早い方から
- 【予約外の方】 番号札の順番どおり

#### (3) 午後の外来受診用番号札について

11時に受付カウンター前に設置  
その後の受付方法については午前の場合と同様  
午前と午後の番号札受付終了後は、予約の有無にかかわらず受付窓口にて順次受付

#### (4) 診察の順番について

原則予約の方優先とし、予約時間の早い方から順番に行いますが、当日の診察内容や症状等によっては診察の順番が多少前後することもあります。予めご了承ください。

しばらくの間はいろいろとご不便をおかけすることもあると思いますが、予約制の趣旨をご理解の上、スムーズな外来診療にご協力いただきますようお願いいたします。

最後に、救患の方については従来どおり対応いたしますのでご安心ください。

### 外来受付時間

午前...8時30分~11時 午後...13時~16時  
※予約の方は予約時間までに受付をお済ませください。  
※予約の方は受診の際に予約票をお持ちください。

### 予約電話受付時間

午後15時~17時(但し休診日は除く)  
※お電話の際には診察券をお手元にご準備ください。

お問合せ 公立久米島病院 ☎985-5555

## 皆で育てよう島の宝 ③

久米島でいきいき子育て

小児科医 渡邊 幸

島内では子育て支援の体制はまだまだ少ない事を以前お話ししましたが、現在民間を中心に島内で子育てサポートを行う人たちが少しずつ増えていきます。これも久米島総合計画のワンキングチームを通して知った嬉しい情報です。

例えば「子育て支援...にじのひろば」では母子推進委員の方々の好意により、毎週火曜日の午前中に旧久米島中学跡で読み聞かせや手遊び、リトミックなどを行い、親同士のつながりや子どもの発育を促す場を提供してくれています。インターネット情報サイト「くめじまーま」(※「くめじまーま」で検索しても出ないの で、http://ponapona-haru.wix.com/prekumajima-na)は久米島で子育てするママを応援したいという気持ちから作られており、島内の子育てに役立つ情報を集めて掲載されています。FMくめじまーま毎週日曜日の朝9時から放送されている「絵本の森」では毎回様々な絵本が紹介され、島の子ども達が多く絵本に触れる機会となっています。宮崎駿さんの寄付により作られる予定の「風の帰る森」プロジェクト

このように、久米島には子どものために何かしたいと考える人たちが増えており、様々な分野で取り組みが始められています。久米島町総合計画ではそのような民間の活動を応援する体制も考えられており、今後このような取り組みがさらに発展していくことが期待されます。

クトでは、現在の銭田公園の場所に子どものための宿泊施設や図書館等の設備が作られる予定ですが、島の子ども達が多く利用できるためのしくみや子ども達の心と身体の発達を促す色々な企画が考えられています。その他にも大きな組織ではなく、個人で地域に密着した形で子育て支援をしながら地域でつながっていきこうという活動を行っている人たちもいます。

今年4月より役場福祉課で始まった「親子支援事業」では本島から定期的な臨床心理士の先生が来られ、個人的な育児相談や発達相談、保育園巡回等の発達支援などが行われています。既に多くの親御さんが個人相談を受けられ、保育園とも少しずつ連携したりと発達に関するサポート体制も始まってきました。